



大賞

地籍調査は社会のインフラ

～ まったなし、地籍調査 ～

(三重県) 津市



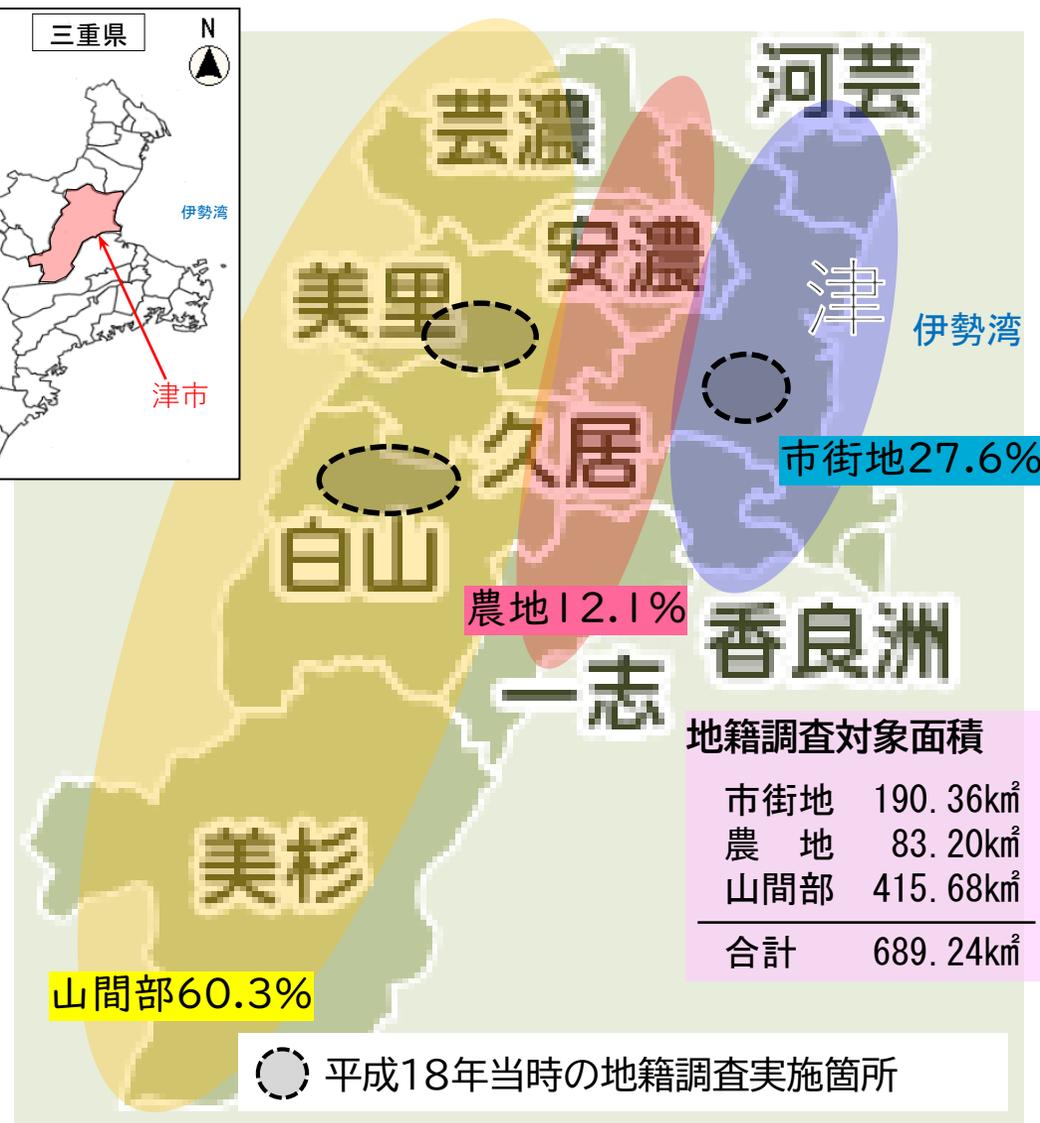
地籍調査は社会のインフラ ～ まったなし、地籍調査 ～

■背景

- 平成18年地籍調査進捗率
1.32%
- 東日本大震災を受け地籍調査の重要性を再認識

■課題

- 人員と予算(財源)の確保
- 職員、住民の認識
- 高い確率での発生が想定される南海トラフ地震による津波被害



(三重県) 津市



■取組の概要

1. 先進性

1-1 地籍調査取組の強化

H26. 12

重点整備区域の設定



H27. 1

津市地籍調査推進協議会の設立



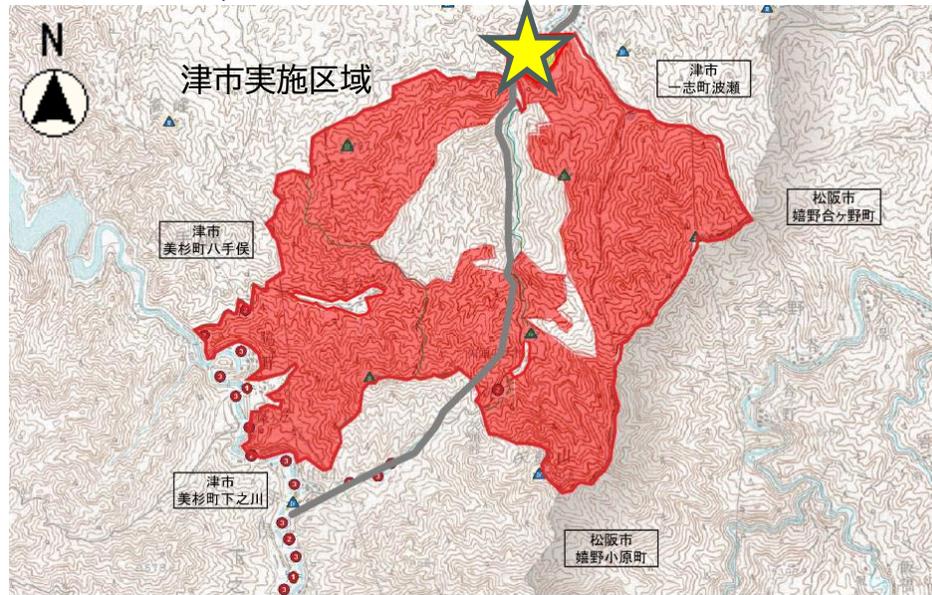
H28. 3

津市地籍調査事業計画の策定
(10ヶ年計画)



1-2 新技術の導入

リモセン



★ 道路事業(三重県)

● 実施区域 A=約1.18km²

三重県の道路事業実施区域

- R1 国 リモセン実施
- ▼
- R2~6 津市 地籍調査実施
- ▼
- R7~ 三重県 道路事業が促進

効率的な手法導入基本調査



● 実施区域 A=約0.68km²

重点整備区域以外の津波浸水想定区域内

- R2 国 MMS 実証実験
- ▼
- R5~9 津市 地籍調査実施。

2. 持続可能性

2-1 組織づくり

H23

地籍調査は社会のインフラ

H28

H29

事業の拡張と新たな取り組み

R2

R3

持続的な成長を
展望して



担当

用地・地籍調査推進室

用地・地籍調査推進課

2-2 女性職員の活躍

平成29年度より女性職員を
配置

地域説明会や立会などで活躍



2-3 津市地籍調査推進協議会の設立 (H27.1)

委員合計 15名 (R7.4.1)

地元代表者 (自治会長) 10名

津地方法務局登記官 2名

(公社)三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 2名

(一社)日本国土調査測量協会 1名



協議会の役割

- (1) 地籍調査の普及及び啓発に関すること。
- (2) 地籍調査実施計画の策定に向けた調査及び検討に関すること。
- (3) 地籍調査の円滑な実施に向けた調査及び検討に関すること。

3. イニシアティブ

3-1 広報誌での発信



(広報つ 平成27年3月1日号掲載)

平成26年11月22日 市長対談
「災害に強いまちづくりを目指して」



(広報つ 平成30年3月1日号掲載)

平成29年11月14日 市長対談
「待ったなし! 地籍調査!!」



3-2 取組事例発表

中部6県 70人
(愛知・三重・岐阜・福井・石川・富山)



令和7年6月20日 津市センターパレスホテル(三重県津市)

中部ブロック公共嘱託登記土地家屋調査士協会
連絡協議会 通常総会における講演

富山県公嘱協会設立40周年記念講演 地籍調査は社会のインフラ ～三重県津市の先進事例から学ぶ激甚災害への備え～

講師 津市長
前葉 泰幸氏

115人

まえば・やすゆき

1962年 三重県津市生まれ。
1985年 東京大学法学部卒業、自治体入省、自治体地方債課長、熊本県地域振興課長・税務課長・財政課長、国土庁防災局(現内閣府)防災企画課課長補佐、自治体固定資産税課長補佐、京都府政策企画室長、総務省自治体政策課長補佐、宮城県企画部長・総務部長、公営企業金融公庫資金課長などを経て、2005年総務省大臣官房企画官。

2006年 1月 デクシア・クレディ・ローカル銀行に転じ、同年12月、銀行東京支店開設とともに副支店長、自治体向け融資ビジネスに従事。

2010年 6月 地方公共団体金融機構審査室長。
2011年 4月 津市長補任。2014年6月～2015年6月三重県市長会会長。
2015年 4月 津市長再選。
2017年 6月～2018年 6月 東海市長会会長、三重県市長会会長。
2018年 5月～2019年 5月 全国公立学校施設整備期成会会長。
2018年 6月～2019年 6月 全国市長会副会長。
2019年 4月 津市長3選。
2023年 4月 津市長4選。2023年6月～2024年6月三重県市長会会長。
2023年10月～2024年3月 国土交通省国土審議会「国土調査のあり方に関する検討小委員会」委員。

<現在>
道路整備促進期成会全国協議会常任幹事、全国公立学校施設整備期成会副会長、全国市長会相談役、内閣官庁 新型インフラエンジニア等対策推進委員会委員、総務省 政策評価推進委員会委員、厚生労働省 社会保険審議会医療保険部会委員、三重県観光協会会長。

<演 題>
【第一部】午前9時30分～午前10:05分 【第二部】午前10時15分～午前11:30分
講演名:「所有者不明土地買収に関する最近の事例」 講演名:「地籍調査は社会のインフラ!」
講 師: 司法書士 異者 優一 胡氏 講 師: 津市長 前葉 泰幸氏
～三重県津市の先進事例から学ぶ激甚災害への備え～

開 催 日 **令和7年10月10日(金)**
開 催 場 所 **パレブラン高志会館「嘉月の間」**
富山県富山市千代町1-3-1 TEL.076-441-2255
開 催 時 間 **開場 9:00 開演 9:30**

入場無料

主催 / (公社) 富山県公共嘱託登記士協会 (公社) 富山県公共嘱託登記士協会 協賛 / 富山県北陸地方警察 富山地方裁判所 富山県 富山県司法書士会 富山県土地家屋調査士会

お問合せ先 / (公社) 富山県公共嘱託登記士土地家屋調査士協会 TEL.076-433-9922
令和7年10月10日
パレブラン高志会館(富山県富山市)

富山公嘱協会設立40周年記念講演

3-3 定例記者会見で発信

災害復旧対策としての地籍調査の強化
重点整備区域の設定・
地籍調査推進協議会の設立へ

平成26年12月17日

災害復旧対策としての地籍調査の強化
地籍調査をさらに進めます
 ～津市地籍調査事業計画によるこれからの取り組み～

平成28年7月19日

調査の進め方の周知

新たな国庫補助事業の活用
(交付金事業)

平成29年度
河芸地域の地籍調査に着手します！
 ～地籍調査をさらに加速化～

説明会 境界立ち会い 閲覧

平成29年12月8日

平成29年度
地籍調査を加速化します！
災害復旧対策としての地籍調査の強化

平成29年5月1日

財源確保
体制強化

津市 Tsu City

地籍調査の円滑化・迅速化
国の効率的な手法導入推進基本調査を
津市で実施！
 ～MMS(モービルマッピングシステム)を導入～

MMSの車両 色付き三次元点群画像 デジタル写真

令和2年9月1日

津市長が選ぶ
令和2年市政の10大ニュース

令和2年12月18日

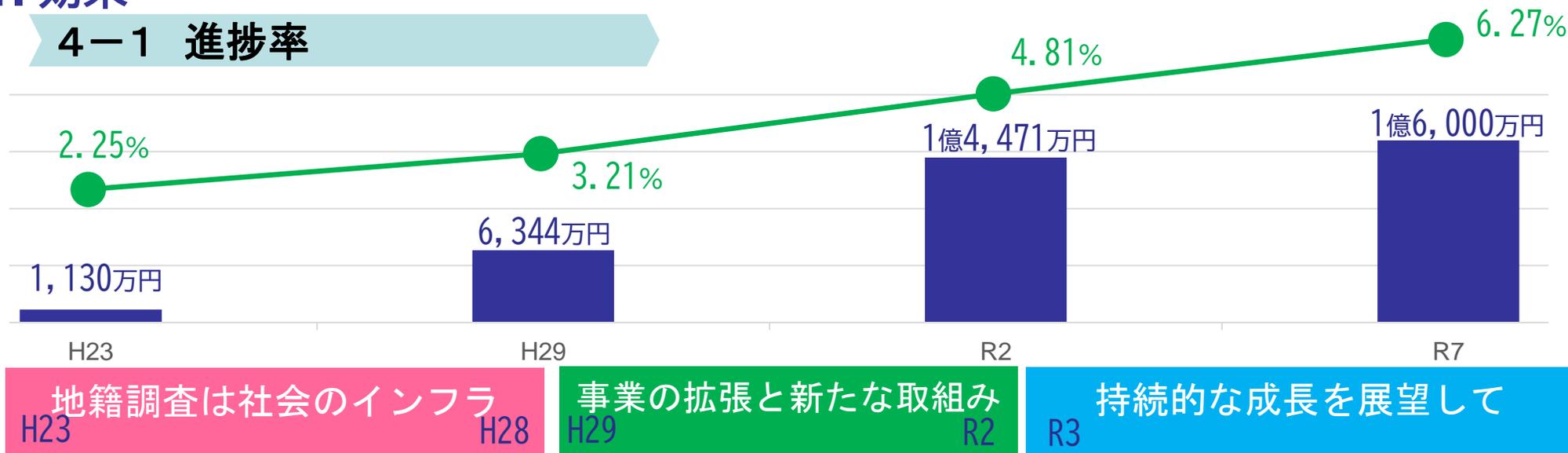
全国初
リモートセンシングデータを
活用した地籍調査を実施

従来の地籍調査における境界確認 山形境界基本調査における境界確認

令和2年1月21日

4. 効果

4-1 進捗率



4-2 境界立会事務の簡素化

境界立会事務の簡素化

年間総数 510 件のうち

立会い省略 約 100 件

4-3 公共事業の円滑化

公共事業の円滑化

境界確認や測量業務が軽減され業務日数

1ヶ月短縮 (70日⇒40日)

4-4 土地利用

地籍調査完了地区

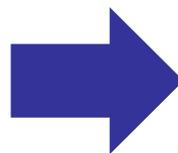
(津市香良洲町)



未利用地



H27~29
地籍調査



7,485.32m²

宅地開発 R3.9



(18区画)

今後も、地籍調査を

全力で進めてまいります。

津市PRキャラクター

シロモチくん

